

七中だより

第1号

平成31年4月16日(火)

校長 勝野 能光

平成31年度のスタートにあたって

～進級・入学おめでとうございます～

校長 勝野 能光

4月9日、第36回入学式を挙行いたしました。88名の新入生を迎え、2年生89名、3年生98名、合計275名で平成31年度のスタートをしました。今年度も、生徒と教職員で、これまで積み重ねてきた三鷹七中の良き伝統を引き継ぎながら、よりよい発展をめざします。また、学校と家庭そして地域社会との信頼を基に、教職員一丸となって教育活動の充実に努め、子どもたちの健全な成長を支援していきたいと考えております。今年度も本校の教育方針にご理解いただき、それぞれのお立場からご支援をいただけますようお願い申し上げます。

始業式では、昨年度からのキーワードである「3C」Change（チェンジ）Chance（チャンス）Challenge（チャレンジ）を2・3年生にお話ししました。

入学式の式辞では、中学校生活の出発にあたり、「ダイヤモンド」の話をしました。

ダイヤモンドは今では最も高価な宝石ですが、その高い価値が認められるようになるまでには何百年もかかっています。ダイヤモンドは、人類が発見した世界で最も硬い物質です。そのためカットしたり磨いたりすることができませんでした。したがって、原石のままでは美しくなかったため、お守りとして使われていたくらいで、ルビーやサファイアに比べて価値はかなり低いものでした。ところが、14世紀になってダイヤモンドはダイヤモンドで磨けば良いという技術が発見されました。それから、その形や美しい輝きが次第に宝石としての価値をもち始め、17世紀の末頃から今のような、宝石の中では最も高い価値をもつようになりました。ダイヤモンドはダイヤモンドで磨くことで美しく輝くようになったのです。

この事と同じように、私は人も人に磨かれることによって輝く、立派に成長する。と考えています。第七中学校には、毎日の教科の勉強や朝読書をはじめ、体育祭や音楽祭などの行事、職場体験やボランティアなどの体験活動、部活動や委員会活動など、たくさんの学習や活動があります。ぜひ、それらの活動に、失敗を恐れずに積極的に挑戦し、自分の力を試してほしいと思います。自分自身が全力を尽くすことはもちろんですが、クラスの仲間、あるいは学年を越えた仲間と一緒に力を合わせて取組んで欲しいと思います。協力したり心を合わせたりするためには、仲間との意見や気持ちの違いなど、簡単にはいかない苦労や悩みもあるかと思いますが、しかし、それらを乗り越えるために努力をすることで、心が鍛えられたり、自分の得意な物や良いところなどが発見できたりします。さらに、周りの人たちへのいたわりや思いやりの心など、集団生活であるからこそ得られることがたくさんあります。それは「人が人を磨く」ということです。ダイヤモンドがダイヤモンドによって磨かれ美しく輝くように、皆さんもこの第七中学校で、お互い同士が磨き合って高め合って、自分を成長させ、輝かせて欲しいと思います。